

令和5年度 年間授業計画

東京都立立川高等学校定時制

教科・科目	コミュニケーション英語Ⅱ	2単位	対象学年・組	4学年
教科書	VISTAⅡ	教科担任	雲林 英明	

1. 目標 英語によるコミュニケーションの基礎を養うと共に、英文を読むことで、その国の文化・風俗習慣を知り、その国の人々に対する理解を深める。
2. 学習の到達目標 英文の内容理解と基本的な文法と表現の習熟および国際感覚の育成

3. 学習内容と学習上の留意点

	予定授業時数	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
1 学 期	24 時間	Lesson6 Becoming the best 錦織選手が困難を乗り越えたエピソードから、勝利の秘訣・成長について学ぶ	(how to do, It seems that～) 疑問詞と不定詞の組み合わせに慣れさせる。
		Lesson7 The Galapagos Islands 今、ガラパゴス諸島に起こっていることは何かを知る。	(現在完了進行形, 形式目的語 it) 形式主語itと形式目的語itの違いを理解させる
2 学 期	26 時間	Lesson 8 Shodo, Old and New 伝統文化を新しいスタイルで発展させることについて考える。	(部分否定, can be done) 部分否定の訳し方に注意させる。 様々な助動詞+受け身の形に慣れさせる。
		Lesson 9 Water World 昔の水族館、現代の水族館について知り、現代技術の果たした役割を考える。	(関係代名詞の非制限用法, have been done) 関係代名詞の制限用法と非制限用法を使い分けられるようにする。様々な現在完了形+受け身の形に慣れさせる。
3 学 期	20 時間	Lesson 10 A Long Friendship トルコと日本との関係について調べ、両国の関係が深まったきっかけを考える。	過去完了形を意識させる。 It is ～ thatを使った強調構文の構造や意味を理解させる。

4. 学習者への注意

- *教科書・ノートを用意し、意欲的に取り組み、提出物等の期限を守ること。
- *定期考査・単語テスト・小テストなど意欲的に取り組むこと。
- *英文を読むことで、その国の文化・風俗習慣を知り、その国の人々に対して理解を深めること。
- *欠席・遅刻・早退をしないこと。

5. 評価の観点・方法

平常点と考査点で評価する。平常点は、プリント・ノート提出物の状況、出席点、態度点、小テストで総合的に評価する。